

DREAMS

追悼 相原信洋

相原信洋の人生は、
まさに
アニメーション
そのものだった。

田名網敬

— 原簿作手アーティスト

2011年12月10日(土)～15日(木)

シアター・イメージフォーラム / イメージフォーラム・シネマテーク

主催 相原信洋を追悼する会(発起人:150名超) | かわなかのひろ、田名網敬一、吉川タク、松本俊夫 | 実行:イメージフォーラム | 協力:京都造形芸術大学

相原信洋を知っている人なら誰もが、あの独特な風貌と底抜けの優しさに惹かれるにちがいない。
 中南米あたりのどこかを髣髴させる衣装に身を包んで、北から南へ、国内から外国へ、いつも飄々と渡り歩き、
 その先でアニメーションのムーブメントをつくりだすあの行動力に憧れるにちがいない。
 相原信洋を知らない人は、作品を見て、その繊細なベントタッチに魅せられるにちがいない。
 人間業とは思えない複雑にして精緻な動きに驚嘆するにちがいない。
 そしてそれらが、物語といういわば無難な枠にとどまるところなく、きわめて抽象化されていることに、
 心の深いところで共感を覚えるにちがいない。

——がわなかのぶひろ(映像作家)



相原信洋 (あいはらのぶひろ、アニメーション作家 1944 - 2011)

TVアニメーション会社に勤務し動画を担当するかわり、1965年代より個人による自主制作のアニメーションを開始、超人的な制作ペースで毎年新作を発表し、2011年4月30日に急逝するまで85作品を遺した。日本を代表するアート・アニメーション作家として、国内およびバンクーバー国際映画祭、アヌシー国際アニメーション映画祭ほか海外での上映多数。また、京都造形芸術大学や阿佐ヶ谷美術専門学校、イメージフォーラム映像研究所など各地で後進の育成にも尽力、そのユニークな指導で学生に慕われた。

A 70年代—80年代前半 12作品81分

12/10(土) 21:00

12/13(火) 21:00

作者の幼年期をモチーフにした初期のエゴック「やまがし」、映像作家・伊藤高志誕生のきっかけとなった「変動」、日本の実験アニメーション史上に輝き続ける代表作「STONE」、モノクロの明暗が映像を生成する「映像(かげ)」…既成のアニメーションに囚われない型破りで大胆な初期作品から、一度見たら忘れられない独特のタッチの抽象アニメーションが誕生するまで。

※12/10(土)は水江未来(アニメーション作家)によるトークあり

やまがし 16mm/5min/1971

みつばちの季節は去って 16mm/7min/1972

おしろい羽根 16mm/8min/1972

逢仙花 16mm/12min/1973

初春狐色 16mm/11min/1973

変動 16mm/3min/1974

STONE 16mm/7min/1975

カルマ 16mm/3min/1977

シェルター 16mm/7min/1980

逢魔が時 16mm/4min/1985

PRIVATE 16mm/6min/1986

映像(かげ) 16mm/8min/1987



やまがし



初春狐色



STONE



映像(かげ)

B 80年代後半—00年代 14作品77分

12/12(月) 21:00

12/15(木) 21:00

「風と身体、静止と動き、光、方向と流れ、流れと風……私にとっての日常的、基本となる記憶やイメージが、映像となって、まさに自身の血の循環のように動きとなり、風となり、空中に漂ってはいしい。」(「WIND」作者コメント) 思わず息をのむとりするような線流は、呼吸するようにアニメーションをつくり続けた孤高の天才がたどりついた前人未踏の境地である。

とんぼ 16mm/7min/1988

GAVORA 16mm/4min/1989

LINE 16mm/5min/1990

MASK 16mm/6min/1991

気動 16mm/4min/1994

RAIN 16mm/5min/1996

MEMORY OF CLOUD 16mm/7min/1997

THE THIRD EYE 16mm/5min/1999

WIND 16mm/6min/2000

MEMORY OF RED 16mm/3min/2004

BLACK FISH video/4min/2006

YELLOW SNAKE video/10min/2006

LOTUS video/7min/2007

ZAP CAT 16mm/4min/2008



MASK



RAIN



WIND



MEMORY OF RED

相原信洋 × 田名網敬一 15作品77分

□12/11(日) 21:00

□12/14(木) 21:00

世界に類をみないアニメーションによる往復書簡「風の呼吸」からスタートした、田名網敬一との共作をすべて上映。2作目「SCRAP DIARY」では同一の紙に2人で描くアニメーション・バトルを展開、以降絶妙のコラボレーションで記憶や夢といった精神世界をスクリーンに演出させた。「DREAMS」完成直後に疎立ったバリで相原信洋は客死、これが遺作となった。

※12/11(日)は田名網敬一によるトークあり

風の呼吸 16mm/4min/2001

SCRAP DIARY 16mm/4min/2002

WALKING MAN 16mm/6min/2002

FETISH DOLL 16mm/4min/2003

LANDSCAPE 16mm/4min/2004

夢10夜 16mm/6min/2004

Trip 16mm/5min/2005

マドンナの誘惑 16mm/4min/2005

ノイズ 16mm/9min/2006

一寸法師 16mm/5min/2007

CHIRICO 16mm/5min/2008

眼の楽園・PARADISE FOR EYES

16mm/4min/2008

SHUNGA 16mm/5min/2009

般若心経 video/6min/2010

DREAMS video/6min/2011



風の呼吸



DREAMS



CHIRICO



FETISH DOLL

初期作品と近年作品+ロングトーク 18作品50分+ロングトーク

□12/10(土) 17:00

□12/11(日) 17:00

上映機会の少ない初期作品と初公開含む近年作品、そして「マイ・シェルター」が出品された第1回実験映画祭(1981)での作家インタビュー-8mmフィルムと、「BLACK FISH」のメイキング映像をそれぞれ作品と一緒に上映。さらに京都造形芸術大学での姿が記録された追悼映像と日替わりの特別ゲストによるトークで、多くの人に愛された相原信洋の実像に迫る。

STOP! 16mm/3min/1969

サクラ 16mm/2min/1970

短距離ランナー 16mm(ビデオ版)/6min/1973

光 16mm(ビデオ版)/3min/1978

BLUE MOON video/1min/2009

FLOWER video/2min/2009

TEA TIME video/1min/2009

IF video/1min/2009

AMMONTIE video/1min/2009

8PM video/1min/2009

TOMATO video/1min/2010

DOT video/1min/2010

SEED video/1min/2010

CCBB video/2min/2010

30°C video/2min/2010

GIGI-GAGA

video/3min/2011 ※初公開

マイ・シェルター (作者解説映像付)

16mm/9min. (+解説2分)/1981

BLACK FISH (メイキング映像付)

video/4min (+メイキング3分)/2006



30°C



BLACK FISH

トーク情報

□12/10(土) 石田尚志(画家、映像作家) × 西原康典(演出家、美術家)

2007年のライブイベント「天才と狂人の狭間」画狂「対決」相原信洋VS石田尚志のエピソードを中心に、有相無相を採った種々のクリエイター・相原信洋のスコッさを語り尽くす!

□12/11(日) 中島崇(映像作家) × 土居伸彰(アニメーション研究・評論)

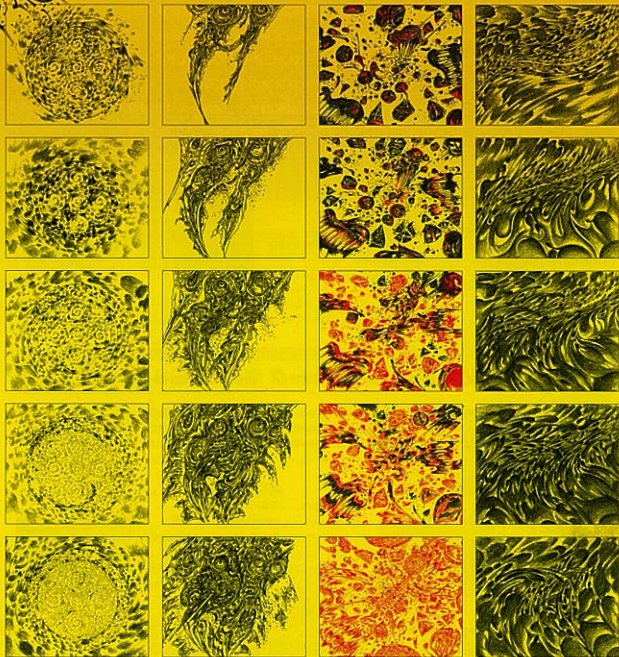
イメージフォーラム設立メンバーの一人であり、ディレクターとして相原信洋作品を最初期から見つけた中島崇が明かす歴史的秘話! 気鋭の若手評論家土居伸彰が導くアイハラ・アニメーション!!

★ 特別展示

12/10、11のみ 各日12:00~20:30

あわせて100枚以上のアニメーション原画やドローイング作品をイメージフォーラムの1~4Fに2日限定で展示。イメージフォーラム全てがアイハラワールドと化す!





写真(左から)「WIND」「風の呼吸」「THE THIRD EYE」「LINE」

www.imageforum.co.jp/aihara

2011年12月10日(土)~15日(木)

シアター・イメージフォーラム 一般1,200円/学生・シニア・会員1,000円

	12/10(土)	12/11(日)	12/12(月)	12/13(火)	12/14(水)	12/15(木)
21:00	A	C	B	A	C	B

イメージフォーラム・シネマテーク(イメージフォーラム3F) 一般600円/学生・会員500円

	12/10(土)	12/11(日)
17:00	D	D

トーク情報

- 12/10 Dプロ(上映後) 石田尚志(画家、映像作家)×生西康典(演出家、美術家)
- 12/10 Aプロ(上映前) 水江未来(アニメーション作家)
- 12/11 Dプロ(上映後) 中島善(映像作家)×土屋伸彰(アニメーション研究・評論)
- 12/11 Cプロ(上映前) 田名網敬一(映像作家、アーティスト)

●展示作品は無料でご覧いただけます。



渋谷駅より徒歩8分
宮益坂上がり、次の信号スターバックスコーヒー右手入る

イメージフォーラム

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-10-2
Tel: 03-5766-0116 www.imageforum.co.jp

●セレクトされた上映作品の決定、上映順、上映フォーマットの決定が先になる場合があります。●上映資料は観覧する観覧のものを使用していますが、フィルム作品は経年劣化によるサイズや色味が異なる場合があります。